

会計名 一般会計		開館30周年記念美術館コレクション展開催				担当部	生涯学習部		
款	項	目	事業			担当課	美術館		
10	5	8				担当係	美術館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術への親しみと理解を一層深め、心の豊かさを育む機会として、「開館30周年記念美術館コレクション展」を開催し、文化芸術の高揚を図る。				主たる内容	○会 期 平成25年4月20日～6月2日 39日間 ○会 場 全館 ○入場料 無料 ○展示内容 開館30周年を記念して、収蔵品の中から選りすぐりの作品180点を紹介する。		
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画 根拠法令 博物館法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成25年度 ～ 平成25年度			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		—		—		・入場者数 10,907人 ・ワークショップ 4種類9回 ・ギャラリートーク 6回		—	
		成果 (できたこと)	美術館の全展示室を会場としたコレクション展は初の試みであり、主要な作品や人気作品はもちろん、普段あまり紹介できなかった作品や新収蔵作品も展示、市民に楽しんでいただけた。 刈谷市美術館の収集方針、30年間の展覧会の歩みなどをわかりやすくまとめることで、刈谷市の芸術振興の歴史も紹介できた。						
課題 (できなかったこと)		出品作品は、寄贈者や寄託者への配慮をしつつ選定したので、優れた作品でも選に漏れたものがある。そのような作品は今後の収蔵品展で出品していきたい。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果 指標		入館者数(人)			—	—	10,907	—	—
成果 指標		入館者アンケートの満足度(%)			—	—	86.4	—	—
他市との 比較検証		今回の展覧会は、開館30周年を記念して館の収蔵品を全館で展示したものであるが、同様の趣旨の展覧会としては、三重県美術館が開催した「コレクションの全貌展」がある。							
C 事業 コスト 建設 事業		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	6,486	0	合計	6,485,744 円	
	財 源	特定財源	0	0	129	0	賃金	1,562,500 円	
		一般財源	0	0	6,357	0	報償費	584,100 円	
	職員人件費 ②		0	0	3,857	0	需用費	107,902 円	
	総事業費(①+②)		0	0	10,343	0	役務費	238,512 円	
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			開館30周年記念美術館コレクション展開催 事業			担当部	生涯学習部
款	項	目				担当課	美術館
10	5	8				担当係	美術館
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価					評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 			高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。また、「日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合」が46.7%とほぼ半数であり、市民ニーズも決して低くない。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 			高い	収蔵作品の展覧会であるため、他館からの借用等がなく、作品搬送飾付等委託料を含めた経費が安価にでき、コストの節減ができた。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 			普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要になることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策に貢献している。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 			高い	美術館の全展示室を会場とした展覧会でありながら、入場無料で作品を鑑賞する機会を提供したことにより、「鑑賞と体験の機会づくり」施策に貢献している。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止				
常設展示等通じて、収蔵作品に親しんでいただく機会を適宜開催していく。							

会計名			開館30周年記念中原淳一展開催事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	美術への親しみと理解を一層深め、心の豊かさを育む機会として「中原淳一展」を開催し、文化芸術の高揚を図る。		主たる内容	○会 期 平成25年9月14日～11月3日 44日間 ○会 場 全館 ○入場料 一般900円(700円) 学生700円(500円) ()内は前売・20名以上の団体 ○展示内容 可憐な少女像や清新なライフスタイルの提案などで戦前・戦後の少女たちに夢を贈り続けた中原淳一(1913-83)の生誕100年展。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成25年度～平成25年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O ハ 実 施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
						・入館者数 19,192人 ・ロビーコンサート 1回 ・ギャラリートーク 7回 ・スペシャルトーク 1回 ・ワークショップ 1回 ・スタイル画作り 会期中毎日				
成果 (できたこと)		2回目の中原展開催となったため、1回目とは異なる新たな切り口で企画構成し、中原が提案した部屋やドレスを再現したり、大正から昭和の少女雑誌で人気を博した抒情画家たちの表紙絵なども展示することで、より来館者満足度の高い展示内容を実現できた。								
課題 (できなかったこと)		会期終盤には大勢の方々で賑わい、多くの市民に芸術に触れる機会を提供できたことで、芸術振興に寄与した。会期の終盤は特に多くの来館者があり、駐車場やトイレ、売店が混雑して来館者を待たせることがあったので、展覧会の運営について検討する必要がある。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
成果指標		入館者数(人)				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度
成果指標	入館者アンケートの満足度(%)						91.3			
他市との比較検証	展覧会の主な巡回地の会期(日数)及び入館者数…そごう美術館(横浜)45日44,855人、高崎市美術館(群馬)61日9,952人、茨城県立近代美術館(茨城)54日14,400人									
C 事業コスト 建設事業	単位:千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳			
	事業費①		0	0	31,062	0	合計	31,061,606円		
	財源	特定財源	0	0	24,357	0	賃金	2,460,955円		
		一般財源	0	0	6,705	0	報償費	160,000円		
	職員人件費②		0	0	5,611	0	旅費	286,610円		
	総事業費(①+②)		0	0	36,673	0	需用費	14,543,128円		
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		25年度特定財源名称		役務費	1,606,108円	
25年度迄の累積事業費		0		入場料、冊子等頒布収入、印刷物売払収入		委託料	5,073,805円			
27年度以降の事業費見込		0				使用料及び賃借料	1,000円			
						負担金、補助及び交付金	6,930,000円			

会計名			開館30周年記念中原淳一展開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。また、「日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合」が46.7%とほぼ半数あり、市民ニーズも決して低くない。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	美術館でのロビーコンサートを、ノウハウや機材のある総合文化センターのアウトリーチ事業として実施することにより、効率的な事業の実施ができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要になることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	当時を懐かしむ世代の来館者のみならず、若い来館者やリピーターも多く、「鑑賞と体験の機会づくり」施策に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
2度目の中原淳一展を開催し、抒情画家を取り上げた展覧会のラインナップは多くの方に認識していただいたので、企画構成に新たな視点や来館者が望む再現などを取り入れ、平成26年度開催の「藤井千秋展」にノウハウを生かしていきたい。 総合文化センターとの連携事業が来館者から好評を得たので、文化振興基本計画に基づき、市内文化施設等との相互協力を強めていく。					

会計名			開館30周年記念井上洋介展開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術への親しみと理解を一層深め、新たな視点を見出し、心の豊かさを育む機会として「井上洋介展」を開催し、文化芸術の高揚を図る。	主たる内容	○会 期 平成26年1月11日～2月23日 37日間 ○会 場 1階展示室、1階ロビー ○入場料 一般300円 学生200円 ※前売・団体割引はなし ○展示内容 戦後の絵本界を代表する作家として多彩な創作活動を続ける井上洋介(1931年-)。ユーモアあふれるナンセンス絵本や絵画作品など初期から近作までを紹介し、ユーモラスでシニカルな井上の不思議な魅力に迫る。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成25年度 ~ 平成25年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
					・入館者数 4,093人 ・講演会 1回 ・ギャラリートーク 6回				
	成果 (できたこと)	中日新聞をはじめとした新聞各紙、『モエ』などの月刊誌に数多く掲載されるとともに、NHK教育テレビの「日曜美術館」でも放映され、刈谷市の芸術振興を全国的に広くアピールできた。 図録の代行となる一般書籍を開催にあわせて出版でき、美術館のみならず、書店等でも販売でき、販路を拡大できた。							
	課題 (できなかったこと)	「成果」に記したとおり費用に対して効果的な広報ができたが、知名度のある作家のように多くの人に浸透できず、今後より効果的なPR方法を検討していく必要がある。							
	指標名称(単位)				実績値		目標値		
					23年度	24年度	25年度	26年度	28年度
	成果 指標	入館者数(人)			—	—	4,093	—	—
成果 指標	入館者アンケートの満足度(%)			—	—	81.2	—	—	
他市との 比較検証	他館の自主企画展の本数…高浜市やきもの里かわら美術館2本、碧南市藤井達吉現代美術館2本、豊橋市美術博物館2本。(いずれも公募展及び収蔵品のみによる展示を除く)								
C 事業 コスト	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	7,514	0	合計	7,513,908 円	
	財 源	特定財源	0	0	1,621	0	賃金	1,137,630 円	
		一般財源	0	0	5,893	0	報償費	300,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	4,559	0	旅費	495,700 円	
	総事業費(①+②)		0	0	12,073	0	需用費	1,847,992 円	
建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称		役務費	378,671 円	
	25年度迄の累積事業費		0		入場料、印刷物売払収入、芸術文化振興基金助成金		委託料	3,353,915 円	
	27年度以降の事業費見込		0						

会計名			開館30周年記念井上洋介展開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。また、「日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合」が46.7%とほぼ半数あり、市民ニーズも決して低くない。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	図録を印刷製本費の計上により製作するのではなく、一般書籍として出版社から出版することで、売れた分だけ消耗新費で購入すればよくなり、売残りリスクを回避することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要になることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	油彩画のみならず絵本原画や漫画原画など、普段目にすることの少ない作品を鑑賞する機会を提供できたので、「鑑賞と体験の機会づくり」施策に貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<p>図録を代行する一般書籍化を積極的に行う。 刈谷市美術館で収集した井上洋介の絵本原画を展覧会として企画し、他地域の美術館で開催することで刈谷市の芸術振興を全国的にアピールしていく。</p>					

会計名		施設管理事業				担当部	生涯学習部			
一般会計						担当課	美術館			
款	項					目	担当係	美術館		
10	5					7				
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	来館者に美術館及び佐喜知庵を快適に利用していただくため、施設の適正な維持管理を図る。	主たる内容	○光熱水費 ○施設修繕料 ○電話料 ○建物清掃料 ○設備等保守管理料等 ○美術館・佐喜知庵の施設管理に関する経費						
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令		博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和58年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 217日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 280日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 267日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 274日		
成果 (できたこと)		施設、設備等が適切に維持管理ができ、市民に快適な鑑賞環境の提供ができています。								
課題 (できなかったこと)		美術館は建設後30年を経過した建物であるため、設備が古く省エネルギーの観点で改善の余地がある。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		ギャラリーの展示室稼働率(%)			100	100	100	100	100	
指標										
他市との 比較検証		ギャラリーの展示室稼働率(%)…稲沢市荻須記念美術館99.7、豊田市美術館91.0、碧南市藤井達吉現代美術館5.9								
C コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		26,427	31,824	35,466	36,376	合計	35,466,056 円		
	財源	特定財源	1,939	2,224	2,642	2,432	需用費	18,322,238 円		
		一般財源	24,488	29,600	32,824	33,944	役務費	640,457 円		
	職員人件費 ②		5,599	6,791	5,961	6,229	委託料	14,740,056 円		
	総事業費(①+②)		32,026	38,615	41,427	42,605	使用料及び賃借料	1,763,305 円		
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		美術館使用料、電話料実費徴収金						
27年度以降の事業費見込		0								

会計名			収蔵品等保存管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行い、美術館収蔵品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。	主たる内容	○美術品動産保険 ○収蔵庫の燻蒸 ○収蔵作品の修復 ○収蔵庫の保存環境測定					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		博物館法					
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 1階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 2階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品包込み燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 1階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品包込み燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 2階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影	
成果 (できたこと)		収蔵作品の適切な保存、管理、補修が図られている。							
課題 (できなかったこと)		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復は新収蔵品を優先して行なっており、以前からの収蔵品は予算の範囲内で順次行なっている。そのためまだ修復しなければならない作品が残っている。							
指標名称 (単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動 指標		修復、保存措置等をした作品数 (点) (写真撮影、額装等)		11	11	410	410	400	
成果 指標		修復、保存措置等をした作品のうち展示に活用した作品数 (点) (写真撮影、額装等)		11	11	90	30	60	
他市との 比較検証		収蔵品点数 (点) … 稲沢市荻須記念美術館225、豊田市美術館3,269、碧南市藤井達吉現代美術館1,200、高浜市やきもの里かわら美術館2,454 修復、保存措置等をした作品数 (点) … 稲沢市荻須記念美術館1、豊田市美術館33、碧南市藤井達吉現代美術107、高浜市やきもの里かわら美術館0							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,474	2,392	2,402	3,479	合計	2,401,927 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	0	役務費	175,140 円	
		一般財源	2,474	2,392	2,402	3,479	委託料	2,226,787 円	
	職員人件費 ②		718	707	1,753	1,832			
	総事業費 (①+②)		3,192	3,099	4,155	5,311			
建設 事業	全体事業費 (単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
	25年度迄の累積事業費		0						
	27年度以降の事業費見込		0						

会計名		収蔵品管理システム導入事業				担当部	生涯学習部			
一般会計						担当課	美術館			
款	項					目	担当係	美術館		
10	5					7				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	収蔵品のデータ管理を一元化し迅速かつ正確に事務処理を行なうため、収蔵品管理システムを導入する。	主たる内容	○収蔵品管理システムのライセンス使用料						
	位置づけ	関連計画	文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
						・全収蔵作品1,787点（平成24年度まで）のデータ移行終了		・全収蔵作品2,506点（平成25年度まで）の作家情報及び作品検索のための情報の入力		
成果 (できたこと)		煩雑になっていた収蔵作品の文字情報、管理情報、作品画像データを収蔵品管理システムに一元化することができた。作品のデータ管理だけでなく、作品そのものの管理方法も見直す機会となった。								
課題 (できなかったこと)		これまで管理しているデータをシステムに移行できたが、作品や作家に関する情報を付加することは次年度に持ち越しになった。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		データ移行数（点）			—	—	1,787	720	—	
成果指標		収蔵品データのホームページでの公開（点）			—	—	—	—	2,506	
他市との比較検証		収蔵品管理システム未導入館…稲沢市荻須記念美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、高浜市やきものの里かわら美術館 収蔵品管理システム導入館…愛知県美術館（独自システム）								
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	315	0	合計		315,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料			315,000 円
		一般財源	0	0	315	0				
	職員人件費 ②		0	0	1,403	0				
	総事業費 (①+②)		0	0	1,718	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0								
27年度以降の事業費見込		0								

会計名		施設整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○美術館設備の補修に関する費用 ○茶室トイレ洋式便器取付工事 ○茶室トイレ配管修繕 ○高圧受電設備修繕 ○第2展示室ピクチャーレール修繕		
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館の施設を整備し、来館者に快適な環境提供を図る。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		美術館の整備・・・空調設備改修、展示室内壁面改修、消防用設備容器弁更新工事、駐車場整備工事他、佐喜知庵の整備・・・表門及び枝折戸等修繕		美術館の整備・・・屋外配水管等修繕		美術館の整備・・・第2展示室可動壁修繕、第2展示室ピクチャーレール修繕、高圧受電設備修繕他、佐喜知庵の整備・・・トイレ洋式便器取付工事、トイレ配管修繕		美術館の整備・・・第1展示室ピクチャーレール修繕、監視カメラ設備ハードディスク交換修繕、美術館外壁調査設計委託、2階トイレ洋式化工事、佐喜知庵の整備・・・水屋雨漏り修繕	
成果(できたこと)		美術館の設備補修について、予定されていた高圧受電設備、ピクチャーレールの修繕のほか、突然故障した茶室トイレの修繕を実施した。							
課題(できなかったこと)		急遽茶室トイレの修繕を行なったため、当初予定していた美術館2階のトイレ洋式化工事が26年度に持ち越しになった。							
指標名称(単位)			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		年間入館者数(人)		80,422	92,289	95,784	105,000	96,000	
指標									
他市との比較検証		平成25年度施設修繕額・・・碧南市藤井達吉現代美術館1,417千円、高浜市やきもの里かわら美術館57,474千円(経常1,535千円、空調熱源機器交換55,939千円)、豊橋市美術博物館2,202千円							
C 事業コスト		単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳	
	事業費①		82,874	1,932	5,947	3,092	合計	5,947,120円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,002,120円	
		一般財源	82,874	1,932	5,947	3,092	工事請負費	945,000円	
	職員人件費②		5,025	1,415	3,156	3,298			
	総事業費(①+②)		87,899	3,347	9,103	6,390			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			業務管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化				主たる内容	○刈谷市美術館美術品審査委員会を開催し、 収集予定作品の可否を諮る。	
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	作品選定、審査等の適正な業務管理を行うことにより、刈谷市美術館が収蔵するにふさわしい美術品を収集する。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱						
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員		事業期間	平成4年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人	
成果 (できたこと)		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った美術作品の収集を行うことができた。							
課題 (できなかったこと)		審査委員の高齢化により、後任の委員の候補者を確保する必要がある。							
O 実施 V	指標名称 (単位)				実績値			目標値	
					23年度	24年度	25年度	26年度	28年度
	活動指標	審査委員会開催回数 (回)			1	1	1	1	1
	活動指標	審査作品数 (件)			9	6	27	5	5
他市との比較検証	審査委員会開催回数 (回) … 稲沢市荻須記念美術館1、豊田市美術館1、碧南市藤井達吉現代美術館2、高浜市やきもの里かわら美術館3 (考古・工芸、美術、普及部会各1回) 審査作品数 (件) … 稲沢市荻須記念美術館1、豊田市美術館39、碧南市藤井達吉現代美術館235、高浜市やきもの里かわら美術館10								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		439	368	331	874	合計	331,380 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	25,800 円	
		一般財源	439	368	331	874	旅費	108,280 円	
	職員人件費 ②		502	495	1,403	1,466	委託料	197,300 円	
	総事業費 (①+②)		941	863	1,734	2,340			
建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
	25年度迄の累積事業費		0						
	27年度以降の事業費見込		0						

会計名			一般企画展等実施事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	常設展示を行うことにより、地域の人々に刈谷市美術館収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深めてもらう。 呈茶事業を行い、気軽に抹茶をいただく機会を提供し、茶道に親しんでもらう。			主たる内容	○特別展示室において、年4回、収蔵作品による常設展を実施 ○茶室佐喜知庵において、貸切のない日の午後1時から3時30分の間に個人呈茶を実施				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		第1期常設展「New Collections」30日		第1期常設展「New Collections」32日		第1期常設展「ふしぎなせかい」32日		第1期常設展「New Collections」26日		
第2期常設展「上原欽二展」25日		第2期常設展「モノクロームの世界」31日		第2期常設展「わたしのベストコレクション」26日		第2期常設展「没後10年 杉本健吉・寛忠治展」25日				
第3期常設展「絵本原画展」35日		第3期常設展「宇野亜喜良ポスター展」40日		第3期常設展「宇野亜喜良展本にみる少女譚」37日		第3期常設展「旅の記憶、異国の情景」40日				
第4期常設展「カリヤ美術しよくぶつ園」41日		第4期常設展「水の表情」35日		個人呈茶日数 211日		第4期常設展「いきものたちの絵本劇場」41日				
個人呈茶日数 180日		個人呈茶日数 220日				個人呈茶日数 200日				
成果 (できたこと)		個人呈茶の時間延長などにより事業が充実し、市民の文化振興が図られている。								
課題 (できなかったこと)		佐喜知庵は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、施設・設備・茶道具の日常的な消耗、劣化があるが、予算の範囲内でしか修繕、買替えができなかった。								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度			
成果指標	特別企画展開催時を除く入館者数(人)		46,364	50,154	48,298	50,000	50,000			
成果指標	個人呈茶人数(人)		2,977	3,658	4,622	3,800	3,800			
他市との比較検証	常設展開催日数(日)…稲沢市荻須記念美術館297、豊田市美術館289、碧南市藤井達吉現代美術館297、高浜市やきものの里かわら美術館302 常設展入館者数(人)…稲沢市荻須記念美術館10,100、豊田市美術館18,458、碧南市藤井達吉現代美術館28,800、高浜市やきものの里かわら美術館15,685									
C 事業コスト	単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳			
	事業費①		2,513	3,263	3,248	4,454	合計 3,248,192 円			
	財源	特定財源	1,258	1,478	1,526	1,820	旅費 34,160 円			
		一般財源	1,255	1,785	1,722	2,634	需用費 1,339,769 円			
	職員人件費②		2,548	2,476	2,805	2,931	役務費 360,961 円			
	総事業費(①+②)		5,061	5,739	6,053	7,385	委託料 1,503,302 円			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		冊子等頒布収入、呈茶料収入						
27年度以降の事業費見込		0								

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	平成26年度以降に開催を予定している企画展について、調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行い、展覧会の充実を図る。	主たる内容	○調査研究 ○展示美術品の借用交渉等に関する費用 ○次年度当初に開催の企画展用ポスター等の印刷費及び発送費					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		博物館法					
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～				
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備	
成果 (できたこと)		展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要となるため、開催年度前から準備作業を行うことができ、展覧会の充実が図られている。							
課題 (できなかったこと)		本事業で次年度の事業のPRを行なうのは例年春の企画展のみであるが、平成26年度は夏の企画展が事前にワークショップを実施したので、これについても25年度以内にPRをはじめていたほうがより効果的であったと思われる。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
成果指標		次年度春季企画展時のアンケート展示内容満足度(%)			85	89	86	90	90
成果指標		次年度秋季企画展時のアンケート展示内容満足度(%)			86	85	91	90	90
他市との比較検証		愛知県美術館…準備事業予算に旅費を計上。ポスター印刷は実行委員会予算。 豊田市美術館、豊橋市美術博物館…準備事業予算に旅費、春の企画展のポスター印刷等を計上。 稲沢市荻須記念美術館…準備事業予算に旅費を計上。企画展は秋にしかないのでポスターの印刷等は開催年度の予算に計上。							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,589	2,203	3,083	4,070	合計	3,082,836 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	937,250 円	
		一般財源	2,589	2,203	3,083	4,070	需用費	1,425,097 円	
	職員人件費 ②		5,384	4,103	4,559	4,763	役務費	250,100 円	
	総事業費(①+②)		7,973	6,306	7,642	8,833	委託料	470,389 円	
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	美術館をとりまく環境の変化に対応し、より開かれた美術館への要求に応えるため、美術及び美術館の教育普及活動を行い、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。		主たる内容	○企画展関連のワークショップの開催 ○夏休み・春休みの子ども向けワークショップの開催					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	博物館法						
		対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定し		事業期間	～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		ワークショップ 7種類11回を開催 参加者数 266人		ワークショップ 12種類13回を開催 参加者数 431人		ワークショップ 13種類14回を開催 参加者数 319人		ワークショップ 12種類13回を開催 予定参加者数 250人		
成果 (できたこと)		他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは毎回抽選になるほどの応募が集まっている。								
課題 (できなかったこと)		多様なプログラムを提供できるように、複数の講師の人材の確保が課題である。								
指標名称(単位)				実績値		目標値				
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動 指標		開催回数(回)				11	13	14	13	15
成果 指標		参加人数(人)				266	431	319	250	300
他市との 比較検証		近隣市でほとんどの美術館が美術普及ワークショップを実施している 実施方法は館によって異なる。高浜市やきもの里かわら美術館では、館内の陶芸創作室で休館日を除く毎日、陶芸創作体験を行なっている。碧南市藤井達吉現代美術館では、ワークショップは「子ども友の会」の会員制であり、対象は小学生のみである。								
C 事業 コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		769	783	917	809	合計	916,646 円		
	財 源	特定財源	0	0	41	30	賃金	160,565 円		
		一般財源	769	783	876	779	報償費	557,000 円		
	職員人件費 ②		2,154	2,264	2,455	2,565	需用費	44,251 円		
	総事業費(①+②)		2,923	3,047	3,372	3,374	役務費	10,980 円		
	建設 事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		講座受講料						
27年度以降の事業費見込		0								

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	刈谷市美術品等購入基金の運用収入金を基金へ積立する。		主たる内容	○美術品等購入基金の利子を積立とする。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例						
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	平成1年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		運用金収入を基金に積立 867,600円		運用金収入を基金に積立 623,000円		運用金収入を基金に積立 631,800円		運用金収入を基金に積立 324,000円		
成果 (できたこと)		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。								
課題 (できなかったこと)		経済状況の悪化に伴う預金利率の低下。								
指標名称(単位)				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果 指標		運用収入金(千円)				868	623	632	324	—
成果 指標		定期預金の利率(%)				0.18	0.13	0.135	0.07	—
他市との 比較検証		豊田市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、高浜市やきもの里かわら美術館…購入基金該当なし 平成24年度末現在の基金額(円)…稲沢市荻須記念美術館23,054,292 運用収入金(円)…稲沢市荻須記念美術館24,265 定期預金の利率(%)…稲沢市荻須記念美術館0.02								
C 事業コスト		単位:千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費①		868	622	632	324	合計	631,800円		
	財源	特定財源	868	622	632	324	積立金	631,800円		
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費②		36	35	351	366				
	総事業費(①+②)		904	657	983	690				
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		美術品等購入基金積立金利子						
27年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			美術品等購入事業				担当部	生涯学習部			
款	項	目					担当課	美術館			
10	5	8					担当係	美術館			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり								
	目的	美術品等購入基金で購入した美術品を一般会計にて基金から買戻し、基金の一部となったままの美術品を市の財産とする。	主たる内容	○基金で購入した美術品のうち、平成18年度以降で昨年度までの購入した32件、278点を買戻す。							
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画			
		—		—		・32件 278点 118,125,000円を買戻す		—			
成果 (できたこと)		基金で購入した作品を一般会計で買戻すことにより、基金の残高のうち現金部分を増加させることができ、今後も継続的に作品を購入できる基盤が整った。									
課題 (できなかったこと)		基金の残額に対して近年の購入額は低く推移しているが、基金活用の成果を市民に還元できるよう、「刈谷市美術館美術品収集方針」により所蔵品として計画的に充実していく必要がある。									
指標名称(単位)				実績値			目標値				
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度			
活動指標		基金からの買戻し件数(件)			—	—	32	—	—		
指標											
他市との比較検証		豊田市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、高浜市やきもの里かわら美術館…購入基金該当なし。愛知県美術館、名古屋市美術館には購入基金があるが、財政的な問題で久しく買戻しができていない。									
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	118,125	0	合計		118,125,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	備品購入費		118,125,000 円		
		一般財源	0	0	118,125	0					
	職員人件費 ②		0	0	1,403	0					
	総事業費(①+②)		0	0	119,528	0					
	建設事業	全体事業費(単位：千円)			0	25年度特定財源名称					
		25年度迄の累積事業費			0						
27年度以降の事業費見込			0								